

---

# 予知夢

都霽

---

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

予知夢

### 【Nコード】

N70920

### 【作者名】

都霏

### 【あらすじ】

夢でみたひとつたり事件が  
本当に起こった  
それから身の回りで予知夢がおり、  
そして私は  
信じられない夢を見た

**（前書き）**

あなたは未来を知りたいですか

これからの話は

ある予知夢を見る

男の話です

その夢が運命だと知りながらも  
あなたは未来を知りたいですか

「返して！！！」

ドアを開けると

叫び声がきこえた

「放して！！！！誰か！！」

見ると女の鞆を黒い男がひたたくっており、てこずっている  
そして呆気なく男は捕まった

ぴびぴびぴびぴびぴび...

夢であった

しかしこの時既に夢の内容など忘れてしまっている  
私は会社に行く用意をして家を出た

「返して！！！！」

「放して！！！！誰か！！」

叫ぶ女に

てこずる黒い男

どこかで見た覚えがあるぞ

正夢だ

そしてやっぱり男は呆気なく捕まった

そして電車に乗り、いつも通りぽつぽつ見当たる空席に座る  
柔らかい太陽に包まれて

私は眠ってしまった

部下の篠原がコーヒーを床にぶちまけた。それが膝にかかり

はっと起きた

そして終着駅に着いた

私は仕事の計算を済ませ、6時で帰る支度をしていた  
するとそこにコーヒーを持った篠原がやってきて

コーヒーを手から滑り落とした  
やはりコーヒーは膝にかかった

そして私の書類にもかかった

幸いデータは記録してあるも、修復のため残業すれ羽目になった

帰りの電車でもやはり寝てしまい、私は夢を見る

ガシャンッ

頭の上で何かが割れた

驚いた私は目覚める

そして下車するなり歩き出す

暗い夜道の中

分け入った住宅地

マンションと電信柱の森

車のライトが背中の方から見えた為、

私は慌てて左に避ける

ガシャンッ

私は何が起こったかわからなかったが

確認するとマンションのベランダから植木鉢が落ちてきたのだ

植木鉢は地面に落ちたが

私は土まみれになってしまった

” 私には予知夢の才能がある ”

家に着き、くたくたになった私は風呂からあがりそのまま寝てしまった

…今日の私は何かおかしい  
きつとまた予知夢をみるだろう

ガサガサ、、、

ガサガサ、、、

私は気付けば暗い林の中、

必死で穴を掘っていた

そしてそこに部下の篠原が現れ  
いきなり私を包丁で突き刺した

私は汗だくになり跳ね起きた

篠原に、、、殺され、、、る!?

気付けば朝になっており

スコップを車に詰めて持って私は会社へ向かった

会社での篠原はどこもなくおろおろして忙しない

そして6時ぴつたり仕事を澄ますと、私は篠原を呼び出して食事に誘った

私は篠原を車に乗せて迷わず林へ向かった

林の中頃で車を止めて道に迷ったと告げた私は

いったん車内から出るよう告げ

部下に電話を掛けさせる

私は躊躇なく

篠原をスコップで殴り殺す

”やられる前に 殺っておけ”

動かなくなった篠原を横目で見ながら

この時私は初めて自分に予知無の力があることに感心した

そしてひたすら穴を掘り続け、死体を隠すことに必死だった

その時

死んだはずの篠原の死体が

ゆらりと動いた

彼はまだ完全に死んでいなかったのだ  
赤まみれの篠原は

何故殺そうとしたああ！！！！

と、云わんばかりの恐ろしい顔で包丁を私に突き付けた

ぴぴぴぴぴぴぴぴ...

目覚まし時計を止めて私は自己を確認する

生きている事に感銘を受け、仕事に向かう  
温かい日差しの下生きている事が素晴らしい  
苦しい目覚めを心地よい朝に変えた今  
空の青を吸い込もうと今ドアを開ける。

「返して！！！！」

「放して！！！！誰か！！」



（後書き）

結局この男は

予知夢を見た事で

運命を回避できたのでしょうか

それとも

予知夢を見たせいで

それが命取りになったのでしょうか。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n7092o/>

---

予知夢

2010年11月4日19時52分発行